

-概 況-

10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「設備操業度」の1指標が上昇、「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の6指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも下降し、それぞれ-36.5ポイント、-26.9ポイント、-26.9ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が下降した。

台風19号により事務所や倉庫等の床上浸水などの被害が発生した影響で、ほぼすべての業種で売上減・収益悪化を招いた。台風の被害が軽微であった組合・組合員においても、今後、関係先等が被災したことによる影響が発生してくることが予想され、消費増税の影響と併せて先行き不透明感への懸念が強まった。消費増税による影響がまだみられない業種もあるようだが、小売業を中心に購買意欲低下等による消費の落ち込みが発生している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	○	△	×	×	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	×	×	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	×	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	×	×	—	△	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	-25.0	50.0	-25.0	-50.0	-50.0	0.0	25.0	-50.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-75.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
製造業	-36.0	-20.0	12.0	-8.0	-24.0	-20.0	-16.0	0.0	-28.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-85.7	-28.6	-28.6	-14.3	-57.1	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	-50.0		16.7	-33.3	-50.0	-50.0		-33.3	-50.0
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-37.0	-20.0	-3.7	-11.1	-29.6	-18.5	-7.4	-25.9	
全体	-36.5	-20.0	3.8	-9.6	-26.9	-19.2	-16.0	-3.8	-26.9

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月 比
売上高	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-19.2
在庫数量	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-11.4
販売価格	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	0.0
取引条件	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	0.0
収益状況	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-9.6
資金繰り	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-7.7
設備操業度	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	4.0
雇用人員	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-1.9
業界の景況	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-7.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-50.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	25.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-75.0	0.0	-50.0	25.0	-75.0
製造業	-12.0	-8.0	4.0	4.0	-8.0	-4.0	4.0	4.0	-4.0
卸売業	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-57.1	-14.3	-28.6	0.0	-14.2	0.0		0.0	-14.2
サービス業	-33.3		16.7	-16.6	-33.3	-50.0		-33.3	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-25.9	-20.0	-3.7	-3.7	-11.1	-11.1		-7.4	-11.1
全体	-19.2	-11.4	0.0	0.0	-9.6	-7.7	4.0	-1.9	-7.7

特記事項

情報連絡員報告（令和元年10月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	10月に実施された消費増税による影響は予想したほどはないものの、引き続き注意する必要がある。また、台風15号以降の水害等の被害が想像以上に大きく、これからの影響がないか心配であり、組合員で廃業等が起きないことを願っている。
酒類製造業	台風19号の被害を受けた組合員においては年内に酒造りが再開できるか不安であるが、ボランティアの方々に助けていただきながら頑張っている状況である。そのほかの組合員では一斉に酒の仕込みが始まった。「夢ささら」米も品質の良いものが収穫され、美味しい日本酒ができあがるのが待ち焦がれる。
縫製業	例年より生産量が30%減少し、大変厳しい状況であった。台風により、生地が水に濡れたり再整理が必要になったりなどの影響があった。
染色整理業	特段の変化はない。東京オリンピックの好影響による売上増を期待している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本格的なシーズンに入り、受注状況も多少の動きが出てきたが、定番のレースは予想通り動きが鈍いようである。11月末には都内展示会に出展予定であり、今年のトレンドを上手く掴み、取引先へ提案できるよう活動していく。
家具・建具製造業	台風19号による水害は、組合員においては軽微であったものの、地区内においては深刻な被害が発生しており、今後の影響が懸念される。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。台風19号により被災した組合員が数社あった。事務所、工場、倉庫が冠水し、未だ稼働不可能な企業もある。今後、機械等の買い替えが必要なことから、復旧までには時間を要する。
石灰製造業	鉄鋼向けは台風の影響で出荷減となった。肥料関係は消毒に用いる消石灰の出荷増と関東以北の出荷が伸びたため増加した。建材関係は土質関係で出荷が増えた。鉄鋼向けの減少より肥料関係・建材関係の増加が上回ったため、全体的には増加した。また、消石灰の出荷が特に多く、各社在庫量は減少している。
砕石製造業	2019年度上期（4～9月）の出荷量は7,459,108トンであり、昨年同期比で5.9%減少した。
金属製品製造業	自動車部品関連が減少した。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	悪化や減少の理由がはっきりしないが、現状はゆるやかに下落している。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少した。企業間格差があるため一概には言えないが、10月から実施された消費増税の影響懸念があり、今後の見通しにやや不安がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	消費増税の影響なのか定かではないが、確実に操業度が落ちている。また、台風被害が追い打ちをかけて、さらに景気が下降局面に向かっているように思う。台風の影響がない組合員が1社あるが、これは特別なケースと見るべきであり、落ち込みがひどいところは売り上げベースが半分程度となってしまっている。
各種商品卸売業	大きな業況変化はなかった。10月の台風による大雨での直接の被害は団地内では出ていないが、組合員2社において支店のある栃木市及び郡山市で浸水による大きな被害を受けた。
食肉小売業	観光地の宿泊客減少や高額メニューの敬遠、消費増税、台風の影響等により、消費が下落している。

中古自動車小売業	台風の影響があり、売上高や収益が減少した。
各種商品小売業	非常に厳しい景況が続いている。消費増税のみが原因とも思えない状況である。
各種商品小売業	10月より消費税が増税され、売上の落ち込みは予想されたことであったが、台風19号の影響で営業不可能となった日もあり、全体としてさらに大幅な下落となった。災害からの復旧が進められる中、消費マインドがどこまで回復するのか不透明な状況はまだまだ続くと思われる。年末商戦までにしっかりとした対策を講じる必要がある。
花・植木小売業	台風と大雨の影響、また、産地も高冷地から暖地への切り替え時期のため、市場への入荷量は極端な減少となった。小売の動きも鈍く、ブライダル、葬儀の件数も例年に比べ少なかったため、入荷減の単価安という市況推移となった。台風の影響により、これから主力となる暖地の産地に大きな被害が出ている。年末にかけて品薄状態になることが懸念される。
理容業	台風19号により県南地区を中心に大きな被害を受けた。床上浸水など大きい被害を受けた組合員が多く、組合として今後の対応を検討し進めていきたい。
自動車整備業	消費増税や台風被害の影響により、整備入庫台数が大きく減少し、それに伴い売上高も減少した。
旅館・ホテル	宿泊に関しては、10月と11月がトップシーズンのため高稼働で推移したが、中盤の3連休に台風19号が直撃したためその分だけマイナスとなった。宴会に関しては例年通りであったが、8月から10月にかけての宴会利用での受注件数がここ数年大幅に減少している傾向にあると思う。飲食店利用に関しては未だ動きが鈍く感じる。消費増税の影響を一番受けやすい業種であるため、今後の対策が必要である。また、台風19号以降更に鈍くなった感があり、厳しい状況が続いている。
ビルメンテナンス業	清掃関係のスポット業務の受注が減少し、収益状況も悪化した。消費増税の影響は今のところ受けていない。
給食センター	産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは前年同月比45%減、累計では3%増、敷物用ラベルは前年同月比52%減、累計では18%減、壁装用ラベルは前年同月比38%減、累計では29%減であった。10月はすべてで大きく減少したため、11月からの動きに期待したい。
貨物軽自動車運送業	台風の影響を受けた本県、千葉県、長野県への緊急配送（支援物資、建築資材等）の対応に1ヶ月を通して追われた状況であった。年末の休暇を利用した引越しの問い合わせなども徐々に入りだしている。
一般乗用旅客自動車運送業	消費増税に伴うタクシーの利用控えは今のところないように感じる。現在、キャッシュレス化の対応に苦慮している状況である。
大谷石採石業	台風19号の被害はわずかであったため、業界としての業況変化はないが、採掘現場では石の動き（需要）が落ちているようだとの声が聞かれるため、今後の動きを注視する必要がある。